

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	高橋直子	最新家庭基礎（教育図書） 生活学Navi（実教出版）
○必修 学校必修 必修選択 自由選択		

◆学習の目標

- ・一生と家族・福祉・衣食住・消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
- ・現在の社会が抱えている諸問題について総合的に学び、現在と将来をみつめ、自立した社会人となるために必要な知識を学ぶ。

◆主な学習内容・方法

- (1) 自立をするための衣生活では基本的な知識と技術を習得する。
- (2) 食生活の問題点から健康と栄養素とのかかわりについて習得する。
- (3) 栄養バランスを考慮した調理法を理解し、技術を身に付け実習する。
- (4) 一生に関わる法律の必要性を理解し、様々な家族や家庭生活の在り方、育児・高齢者の生活とかわり方について理解し、男女ともに協力して家庭を築く重要性を習得する。将来の社会保障制度を理解させる。
- (5) 信用経済で生き抜くために消費者としての知識を身に付け、資源と環境との関わりを学ばせる。
- (6) 賢い消費者としての自立をお金教育から習得し、将来の生活につなげる。

◆到達目標と評価の観点

- ・生活の身近な課題から、問題意識をもって学習に取り組む態度を養う。
- ・自分の人生や共に生きる人々との生活が、家庭生活の充実向上を図る能力を育てる。出来るようにする。

◆評価の方法

- ① 期末考査、提出物・課題、授業態度・実習での技術・態度・協力度
- ② 期末考査、提出物・課題、授業態度、実習での技術・態度・協力度
- ③ 期末考査、提出物・課題、授業態度、実習での技術・態度・協力度

◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1学期（26時間）	2学期（28時間）	3学期（16時間）
------	------	-----------	-----------	-----------

◆学習のしかた

<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に関心を持ち、自分のこととして積極的に取り組む態度をもつ。 ・ 提出日は必ず守る。(遅れた場合は減点) ・ 忘れ物をしない。 ・ 飲食禁止・持ち込み禁止(被服室・調理室) ・ 実習・および 課題は自力で達成させる。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	注意すべきこと
1 学期	4	第2部 第1章 暮らしのなかの「食生活」 栄養と食品 食品の選択と扱い方 献立と調理	1	1. 青年期の課題	朝食、体調から、自分の食生活の問題点について考え、食生活の基本はバランスの良い食事にあることを理解させる。 あなたの食事を見直そう * 栄養素の働きと欠乏症 ☆ 糖度実験 * ビデオ * 調理実習(和食献立)
	5		1	2. 食生活診断	
			2	3. 高校生の食生活	
	6		1	4. 朝食欠食と学習能力	
			4	5. 栄養素の働き食品	
	3		6. 清涼飲料と砂糖(糖度実験)		
	3		7. 市販加工食品の栄養バランス		
7	3	8. 調理実験			
	3	9. 調理実験(和食の基本)			
2 学期	8	第2部 第4章 生活と経済 お金の管理 自立した消費者 消費社会を生きる 商法のいろいろ 第2部 第2章 衣生活と環境問題	2	1. 消費生活	プリント・課題 ひとり立ちができるための経済を理解させる。 信用経済を生き抜くための将来の生活を見とおす。 * 若者が狙われている商法 * クーリング・オフ * 賃貸広告 * お金 マネージメント * 社会保障制度・年金 調理実習(弁当作り)
			2	2. 生活情報の活用と意志決定	
	2		3. 家計を計画的に管理		
	2		4. 収入と支出のバランス		
	2		5. 信用経済に生きる		
	2		6. 消費者問題の現状と課題		
	2		7. 賃貸住宅契約		
	2		8. 給料明細書から学ぶ		
	2		9. 社会保障制度・年金		
	2		10. 銀行・ノンバンク		
	2		11. 金銭教育		
	2		12. 手作り弁当と市販弁当の実習		
	2		13. 衣服の機能		
	2		14. 衣服保管、管理・処分		
3 学期	1	第1部 第1・2章 ともに生きる 高齢者・子どもの福祉 第2部 第3章 住まいと環境	3	1. 民法に基づく家族問題	プリント・課題 * 民法・公的書類 調理実習(西洋料理) 調理実習(マドレーヌ)
			2	2. 親の役割と子どもの権利	
	3		3. 子どもを取り巻く環境		
	2		4. 高齢化社会と福祉		
	3		5. 高齢期の生活		
	3		6. 調理実習		